

景観配慮協議申出書

令和3年 10月 26日

(宛先) 鎌倉市長

住所 [REDACTED]

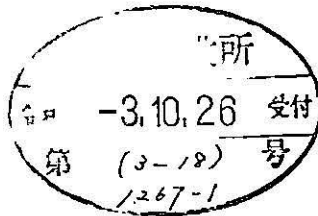
届出者 氏名 李康行 印

電話 [REDACTED]

住所 東京都中央区新川 2-19-8 SHINKA 11F

代理人 氏名 長谷川建築デザインオフィス 株式会社
代表取締役 長谷川順持 印

電話 03 (3523) 6063



次のとおり申し出ます。

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

土地利用類型 の名称	谷戸の住宅地		
景観地区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設計者	住所	東京都中央区新川 2-19-8 SHINKA 11F	
	氏名	長谷川建築デザインオフィス 株式会社 代表取締役 長谷川順持	電話 03 (3523) 6063
行為の場所	地名地番	鎌倉市 西御門二丁目801番の一部	
	用途地域	第一種低層住居専用地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし
	その他	<input checked="" type="checkbox"/> 風致地区 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他 ()	
行為の種類	建築物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input checked="" type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特定地区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行為の期間	着手予定	令和4年 1月 1日	完了予定 令和4年 7月 1日

(表)

建築物の概要	用途	専用住宅				
	最高の高さ	7.975 m	階数	地上 2 階	地下 0 階	
	構造	木造				
	敷地面積	1,254.20 m ²				
	建築面積	400 m ²	届出以外の部分	0 m ²	合計 400 m ²	
	延べ面積	700 m ²	届出以外の部分	0 m ²	合計 700 m ²	
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m <input type="checkbox"/> その他 m				
開発行為の概要	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²				
	仕上材	屋根	スレート	色彩	屋根	N6 (灰色)
		外壁	サイディング		外壁	5YR/8/1 (黄赤) 10YR/8/1 (黄赤)
開発区域の面積	1,254.20 m ²					
行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²) その他 (形質の変更)					
行為の内容	切土 (m ²) 盛土 (358.44 m ²) その他 ()					

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴(景観的特性、景観資源等)をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	緑に囲まれた閑静な住宅街である。
ま ち 並 みの 連 続 性	住宅の緑と丘陵の自然環境が一体となったまちなみである
周 辺 建 物 の デ ザ イン	落ち着いたデザインの戸建て住宅が建ち並んでいる
眺 望 景 観	北側に山があり東側は空地で見晴らしがよい
景 観 資 源	北側に山があり緑が広がっている

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

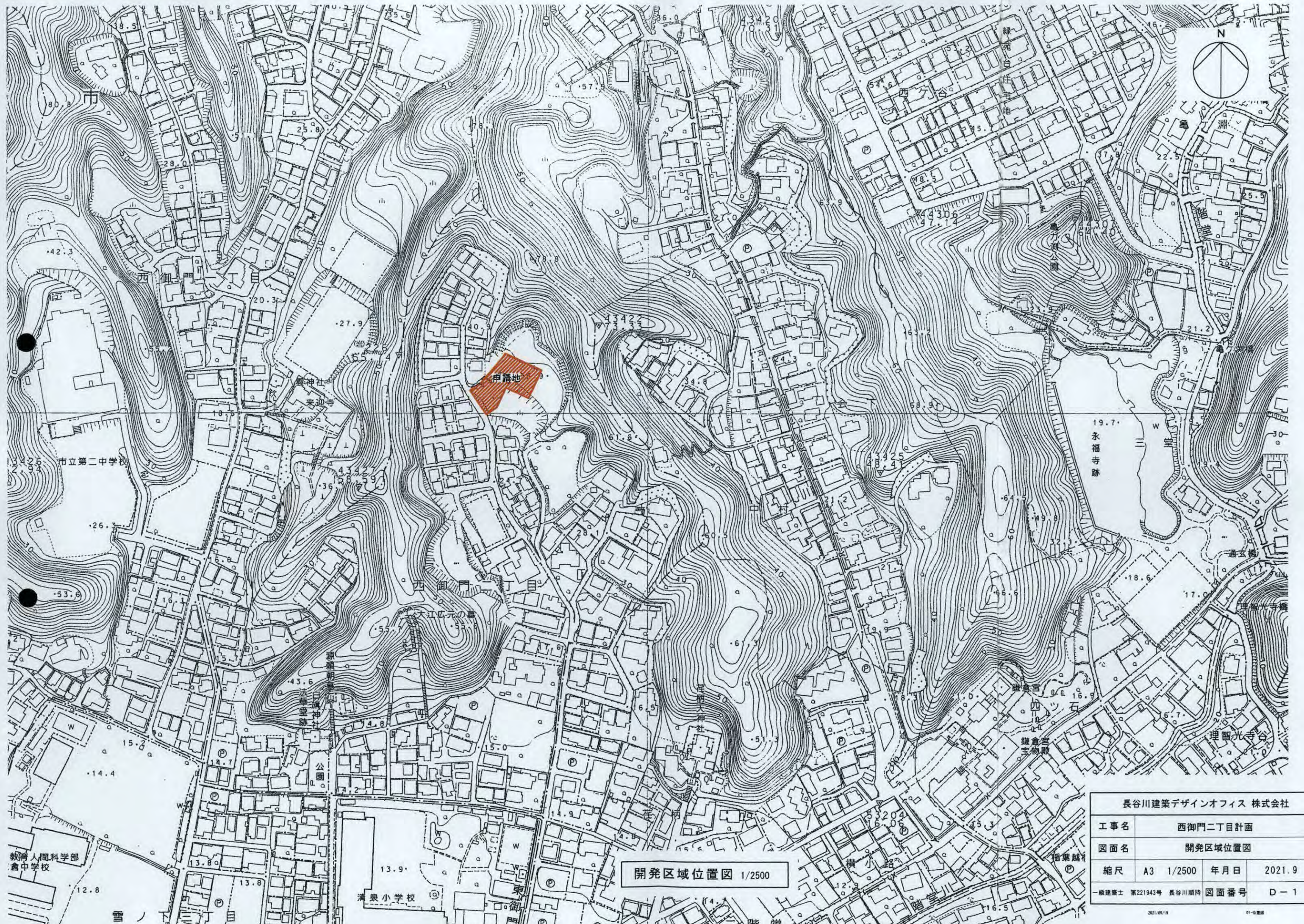
項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	◎	道路からの距離を確保し敷地内緑化に努めた
形 態 意 匠	◎	低層とし、山や庭木から突出しない外観とした
色 彩	◎	基調色はおちついた色彩とした
建 築 設 備	◎	通りから目立たない位置に配置した
外 構 緑 化	◎	自然の環境になじむように敷地内緑化を計画した

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

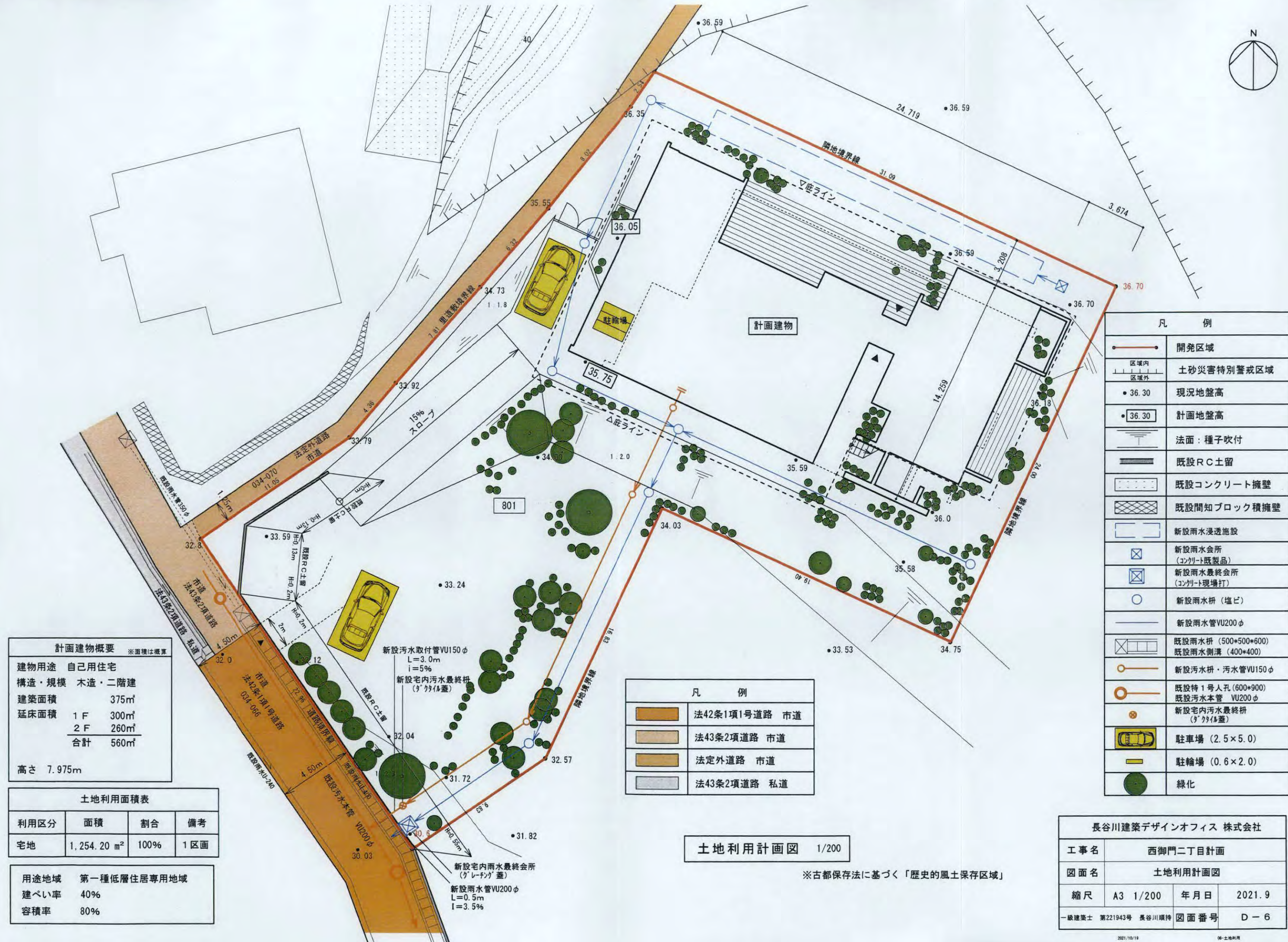
項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成	◎	段差処理は法面とし人工物を使用しないようにした
擁 壁	◎	" "
敷き際・緑化	◎	趣のあるまちなみの連続性に配慮し敷き際を緑化した

自己評価 ◎：十分配慮した ○：配慮した △：部分的に配慮した ×：配慮できなかった



開発区域位置図 1/2500

長谷川建築デザインオフィス 株式会社			
工事名	西御門二丁目計画		
図面名	開発区域位置図		
縮尺	A3 1/2500	年月日	2021.9
一級建築士 第221943号 長谷川順持	図面番号	D-1	



計画建物概要	
建物用途	自己用住宅
構造・規模	木造・二階建
建築面積	375㎡
延床面積	1F 300㎡ 2F 260㎡ 合計 560㎡
高さ	7.975m

土地利用面積表			
利用区分	面積	割合	備考
宅地	1,254.20 m ²	100%	1区画

用途地域	第一種低層住居専用地域
建ぺい率	40%
容積率	80%

凡例	
	法42条1項1号道路 市道
	法43条2項道路 市道
	法定外道路 市道
	法43条2項道路 私道

凡例	
	開発区域
	区域内 区域外
	36.30 現況地盤高
	36.30 計画地盤高
	法面：種子吹付
	既設RC土留
	既設コンクリート擁壁
	既設間知ブロック積擁壁
	新設雨水浸透施設
	新設雨水会所 (コンクリート既製品)
	新設雨水最終会所 (コンクリート現場打)
	新設雨水枡 (塩ビ)
	新設雨水管VU200φ
	既設雨水枡 (500*500*600) 既設雨水側溝 (400*400)
	新設汚水枡・汚水管VU150φ
	既設特1号人孔 (600*900) 既設汚水本管 VU200φ
	新設宅内汚水最終枡 (グレーチング蓋)
	駐車場 (2.5×5.0)
	駐輪場 (0.6×2.0)
	緑化

土地利用計画図 1/200

※古都保存法に基づく「歴史的風土保存区域」

長谷川建築デザインオフィス 株式会社			
工事名	西御門二丁目計画		
図面名	土地利用計画図		
縮尺	A3 1/200	年月日	2021.9
一級建築士 第221943号 長谷川順持	図面番号	D-6	

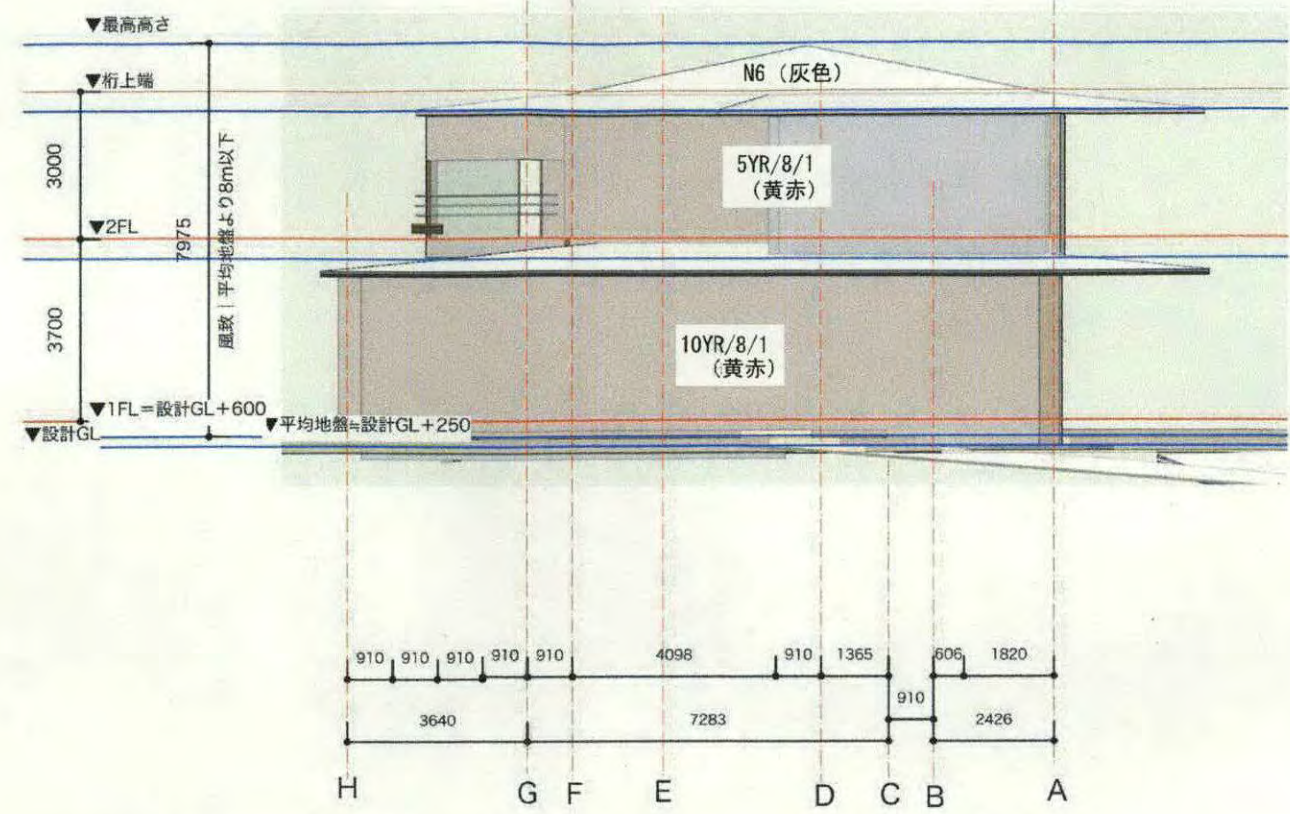
東立面図 1/100



南立面図 1/100



西立面图 1/150



北立面图 1/150

